

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	研究の名称 「間質性肺疾患における白血球分画と予後の関係」
	研究の対象 2009年1月から2022年10月までの間に聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、もしくは浜松医科大学医学部附属病院に通院または入院した患者さんのうち、線維化を伴う間質性肺疾患と診断された患者さん。
	研究の目的 特発性肺線維症（IPF）を始めとした線維化を伴う間質性肺炎は予後不良の疾患であり、既報では、性別（Gender）、年齢（Age）、肺機能（lung Physiology variables）をスコアリングしたGAPスコアという指標が予後と関連すると報告されております。一方で、免疫学的指標である好中球リンパ球比率（NLR）は、様々な疾患の予後指標になり得る可能性が示されており、採血のみで評価できる簡便な指標です。間質性肺炎においてもIPFの疾患進行や死亡リスクの予測にNLRが役立つことが報告されております。本研究ではGAPスコアよりも簡便な方法であるNLRが、抗線維化薬を要する進行性の間質性肺炎患者における予後の指標になり得るかどうかを明らかにします。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2028年3月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、記憶媒体（DVD）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>状態で行います。あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱いますが、あなたと研究用の番号を結びつける表は、各研究機関の研究責任者・研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、胸部 CT の所見、肺機能検査結果、血液検査データ等</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 須田隆文 聖隷浜松病院 橋本大 聖隷三方原病院 横村光司</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 内科学第二講座 須田隆文</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>問い合わせ 先</p>	<p>各機関にて連絡先を修正記載し使用してください</p> <p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 内科学第二講座</p> <p>担当者： 田熊翔</p> <p>TEL： 053-435-2263</p> <p>E-mail： takuma@hama-med.ac.jp</p>
--------------------	--